

高寺に続け!!! 2年連続のドラフト指名

阪神タイガース高寺望夢選手からメッセージ

指名おめでとうございます。プロ野球は厳しい世界ですが、巨人は同じセリーグの球団なのでいつかお互い1軍で対戦できる日を楽しみにしています！僕も死ぬ気でがんばります！



昨年のドラフト会議で阪神タイガースから7位指名を受けた高寺望夢

→初出場となった第93回選抜高等学校野球大会1回戦で広島新庄高校のエース花田投手(読売巨人軍から7位指名)から安打を放つ笹原 撮影：奈良本梓



育成ドラフト

プロ野球には支配下選手というものがあ、1チーム70人まで選手を保有できる。通常のドラフトで指名され入団が決まった時点でそのチームの支配下選手となるが、育成ドラフトで指名されて入団する選手は支配下選手として登録されない。育成選手の公式戦出場は2軍戦のみに限られ1試合に5人まで出場が可能。(樋口 華)

トリプルスリー
笹原操希

巨人

育成ドラフト4位

笹原 操希 (Miyahara) ち・み(さき) 身長180.0cm・体重70kg 福化中学校出身。長野南リトル〜長野南シニア〜上田西高校。強肩強打の中堅手。50メートル6、06秒と高校男子の平均記録を1、25秒上回る瞬足。高校通算33本塁打とパンチ力もある。上田西高校では1年夏より背番号13、1年秋より背番号9。2年秋から1stB。

千西一遇

号外

号外(第86号) 発行 2021年 10月11日(月) 上田西高校新聞委員会編集局
編集局長:堀内日菜子 新聞委員長:橋爪ここ菜
辺見 咲良 樋口 華
写真撮影: 奈良本梓

上田西ではチームを引っ張る主力選手

2021年度新人選手選抜会議(プロ野球ドラフト会議)が10月11日(月)に行われ、本校硬式野球部(読売巨人軍から育成4位指名を受けた)の笹原操希(進学3年11裾)は、1年夏から頭角を現し、花が、読売巨人軍から育成4位指名を受けた。兄の影響で小学校1年から野球を始めたという笹原は、1年夏から頭角を現し、

主力選手に。吉崎琢朗監督は笹原を「単純に野球が好き」というのが見ていて伝わる選手」と評価する。技術面では「走攻守でレベルが高くバッティングで打率が残せる、なおかつ長打が打てる選手」と続けた。チームでは主にプレーで選手達を引っ張り、立場のあるキャプテンなど他の選手を上手く結ぶ役割を担っていた。高校野球を通して人間性について学んだという笹原は「上手くない時、1人では成長出来ないのだから、長出来ないのだから、聞く必要がある。その為自分を客観視できるような人になりたい」と今後の意気込みを話した。(辺見 咲良)

初出場 選抜甲子園は悔いの残る結果に

第93回選抜高等学校野球大会大会で初出場した上田西。聖地での試合経験は笹原の技術的精神面を大きく成長させる機会となった。同じく巨人から指名された広島新庄のエース花田選手との対戦では1打席目からヒット。自身も「楽しむことが出来た」と話すように強みであるバッティングの対応力と積極性を発揮した。しかし「甲子園の雰囲気は飲まれ100%の力を発揮する事が出来なかった」と

「走・攻・守」更なるレベルアップを目指す

笹原は目標とする選手に、打撃では打率を残し、強肩が持ち味の広島カブ「鈴木誠也選手」を挙げた。また、プロ志望届けを提出するにあたり本校出身で昨年阪神タイガースからドラフト7位指名を受けた高寺望夢選手の影響も大きくあったという。「プロで活躍する姿を見て自分もプロに行きたいという気持ちが強くなった」と笹原。今後については「走攻守で活躍して、いずれかは日本を代表する選手になりたい」と強く意気込んだ。吉崎監督は「長野県野球連盟は「長野県野球をアピール、広めてくれるような選手になって欲しい」と笹原の今後の活躍に期待を寄せた。(辺見 咲良)

「走・攻・守」更なるレベルアップを目指す